

# 青い空に浮かぶ白い雲 7

## — 「文武不岐」 —

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

〈今日の言葉〉 ならぬことはならぬものです (福島県会津の教育より)

### 1 管外視察

10月2日から4日まで、東大和市議会 厚生文教委員会(中村庄一郎委員長、尾崎利一副委員長、実川圭子委員、和地仁美委員、関田正民委員、東口正美委員、中間建二委員、下村和郎議事係長)の行政視察に同行させてもらい、秋田県と山形県に行ってきました。視察の内容は以下の通りです。

- ・秋田県大仙市＝学力向上の取り組みについて、小中連携教育の取り組みについて
- ・秋田県横手市＝発達障害早期総合支援モデル事業について、健康の町よこて推進事業について
- ・山形県酒田市＝各種健診(特定健診・がん検診等)受診率の向上について

#### ◆大仙市立角間川小学校について

学力向上の取り組みについては大仙市角間川小学校(和田美砂子校長)を訪問しました。全校児童数は85名で、「文武不岐」(ぶんぶふき)という校訓が掲げられ、私たちをあたたく迎えてくださいました。「一人勉強」や「全校木刀振り」も印象的でした。

#### 【心得】

- 一、わたしたちは礼儀正しい子どもになります
- 一、わたしたちは正しいおこないをします
- 一、わたしたちはすべてにベストをつくします
- 一、わたしたちは角小健児として高いほこりをもちます

職員も保護者も地域も、角小の目指す教育方針を共有しているといった感じがしました。また、和田校長は、多くの大人とのかかわりの中から学ぶことを大切にしていると話してくれました。

### 語りかける人 聞く犬、聞く馬

10月に入り、ようやく秋の気配が感じられるようになってきました。今回は、猛暑、酷暑が続いていたころの話です。

私は指導室長時代から、ずっと「モノレール上北台駅乗降組」です。

その日も暑～い夕暮れでした。駅前の窪地に作ったステージ(?)のような場所の上で、私よりもずっと年配と思われるおじさんが、耳のピンとたった真黒な犬と夕涼みをしている光景に出会いました。何度かその光景を見るうちに、おじさんがいつも真顔でその犬と向き合い何か話をしていることが分かりました。

耳のピンとたったその犬らしい犬は、背筋を伸ばしておじさんと向き合い、目をそらさず、もの言わず、毎回「正座」をして話を聞いています。

犬が人の話をどれだけ理解するのかは分かりませんが、相手と向き合い繰り返し語りかけることで気持ちは繋がるんだろうな、と、またひとつ大切な流儀を学ばせてもらった夕暮れの駅前。

あの日から時は流れて、ようやく秋の気配が感じられるようになった10月6日、読売新聞朝刊「編集手帳」に亡くなられた大滝秀治さんのことが書かれていました。

黒澤監督の映画『影武者』で大滝秀治さんは侍大将を演じた。  
乗馬の心得はない。毎日、自分の乗る馬にニンジンを与えては  
諄々(じゅんじゅん)と言い聞かせたという。

「おれを落として恥をかくのは、おれじゃない。ご主人を落とした  
ことで、お前が恥をかくんだぞ」(以下略)

あの日、おじさんは何を話していたのだろう・・・今年の夏は暑かったなあ～

